

2008 年度

科目名 薬学概論	対象学科・学年 薬学部薬学科 1 回生	担当者 田中慶一 谿 忠人
授業テーマ 薬学（研究と教育）の基礎知識を薬剤師業務や現代医療と関連つけて理解する		
授業の概要と目標 薬学概論では本学薬学部理念「生命科学・医療科学的専門知識と技能及び実践力を備え、高い倫理観を有する人間性豊かな薬剤師を養成し、国民の健康・福祉の向上に寄与する。」を理解する。 具体的には、薬学教育モデル・コアカリキュラム(コアカリ)の A ヒューマニズムについて学ぶ、と B イントロダクションに対応して、①医療・創薬の担い手としてのこころ構えなどの基本的知識を理解する。②薬学専門科目を学ぶための入門として、薬学の研究と教育の概要を認識する。③「早期体験学習」によって薬剤師の活動分野や薬剤師の寄与を理解する（知識、態度）。		
評価方法 出席点（2／3以上の出席が必須）とレポート内容評価。		
テキスト スタンダード薬学シリーズ1 「ヒューマニズム・薬学入門」	著者 日本薬学会 編	出版社 東京化学同人
参考書 早期体験学習ガイドブック	著者 村田正弘編集	出版社 ネオメディカル
授業スケジュール・内容 薬学概論は、コアカリの A ヒューマニズムについて学ぶと B イントロダクションの目標の達成を目指す。 A の一般目標： 生命に関わる職業人となることを自覚し、それにふさわしい行動・態度をとることができるようになるために、人との共感的態度を身につけ、信頼関係を醸成し、さらに生涯にわたってそれらを向上させる習慣を身につける。 B の一般目標： 薬学生としてのモチベーションを高めるために、薬の専門家として身につけるべき基本的知識、技能、態度を修得し、卒業生の活躍する現場などを体験する。 とくに、A（1）生と死、A（2）医療の担い手としてのこころ構え、A（3）信頼関係の確立を目指して、B（1）薬学への招待をテキストや配布資料に基づいて講義し、B（2）の早期体験学習を体験後に討議発表する。 到達目標や授業の進め方、評価方法の概要は1回目の講義で説明する。 以下にコアカリの一般目標や到達目標を記載する（※は、本学独自の到達目標である） 1回. 薬学概論の概要と進め方（6年制薬学教育における位置付け）（谿 忠人）。 【要約レポート】 A（3）【コミュニケーション】：※コミュニケーションが薬剤師・研究者に必要な理由を説明できる。 B（1）薬学への招待（一般目標）薬の専門家として必要な基本姿勢を身につけるために、医療、社会における薬学の役割、薬剤師の使命を知り、どのように薬学が発展してきたかを理解する。 【薬剤師の活動分野】：薬剤師の活動分野を概説できる。（テキストpp.189-193、pp.202-203を概説する） ※6年制薬学教育の内容（講義と実習・演習・卒業研究）とその狙いを概説できる。 ※医療・研究担当者（薬剤師）に必要な人間力（協調力、行動持続力など）を説明できる。 2－6回. 早期体験学習の事前講義と討論 2回. 医療の目的、医療行為にかかわる心構え、日本薬局方（小川雅史 廣谷芳彦） 【医療の目的】 予防、治療、延命、QOLについて説明できる p30 【医療行為にかかわる心構え】 ヘルシンキ宣言の内容を概説できる p75、医療の担い手が持たすべき倫理観を説明できる p79 インフォームド・コンセントの定義と必要を説明できる p83、患者の基本的権利と自己決定権を尊重する(態度) p87 医療事故回避の重要性を自らの言葉で表現する(態度) p90 【日本薬局方】 日本薬局方の意義と内容について概説できる p259 3回 早期体験学習：患者の気持ちに配慮する、チームワーク（名徳 倫明 初田泰敏） 【早期体験学習】 病室における薬剤師および医療スタッフの業務を見聞しその重要性について自分の意見をまとめ、発表する(知識・態度) p274 【患者の気持ちに配慮する】 病気が患者に及ぼす心理的影響について説明できる p142 患者の心理状態を把握し、配慮する(知識・態度) p145、患者の家族の心理状態を把握し、配慮する(知識・態度) p148 患者やその家族のもつ価値観が多様であることを認識し、柔軟に対応できるよう努力する(態度) p150 【チームワーク】 チームワークの重要性を例示して説明できる p156、 チームに参加し、協調的態で役割を果たす(態度) p158		

自己の能力の限界を認識し、必要に応じて他者に援助を求める(態度) p160

4回. 早期体験学習:医薬品の創製と供給に関わるころ構え、地域社会の人々との信頼関係 (小西廣己、上島秀樹)

【早期体験学習】開業薬剤師の業務を見聞き、その重要性について自分の意見をまとめ、発表する(知識・態度) p279

【医薬品の創製と供給に関わるころ構え】 1. 医薬品の創製と供給が社会に及ぼす影響に常に目を向ける。(態度) p103

2. 医薬品の使用に関する事故回避の重要性を自らの言葉で表現する。(態度) p106

【地域社会の人々との信頼関係】 1. 薬の専門家と地域社会のかかわりを列挙できる p162、

2. 薬の専門家に対する地域社会のニーズを収集し、討議する(態度) p169

5回. 早期体験学習:製薬企業および行政機関の概要(藤井敏彦、西山省二)

製薬企業および保健衛生、健康に関わる行政機関の業務を見聞きし、社会において果たしている役割について討議する。(製薬企業に関わる部分のみ)p288

【薬剤師の活動分野】 医薬品の創製における薬剤師の役割について概説できる。p202

【薬について】 化学物質が医薬品として治療に使用されるまでの流れを概説できる。p220

6回. 早期体験学習、総合演習、自己学習・生涯学習(藤井敏彦、西山省二、廣谷芳彦、名徳倫明、池田賢二、小川雅史、上島秀樹、初田泰敏、川西園代、小西廣己、伊賀幾美)(班分けと講義室は追って通知する)

【早期体験学習】早期体験学習前に小人数討議(SGD: small group discussion)により、見学のポイントを整理する。

【総合演習】医療と薬剤師のかかわりについて考えを述べる(態度) p267

【自己学習・生涯学習】 1. 医療に関する諸問題から、自ら課題を見出し、それを解決する能力を醸成する。(知識・技能・態度) p108

2. 医療の担い手として、生涯わたって自ら学習する大切さを認識する。(態度) p112

7-13回. 「医療の担い手としてのころ構え」と「薬学の研究と教育」の概要を認識する。

7回. 生命の尊厳と医療(田中慶一)

A(1)【生命の尊厳】: 1. 人の誕生、成長、加齢、死の意味を考察し、討議する。(知識・態度)

2. 誕生に関わる倫理的問題(生殖技術、クローン技術、出生前診断など)の概略と問題点を説明できる。

3. 医療に関わる倫理的問題を列挙し、その概略と問題点を説明できる。

4. 死に関わる倫理的問題(安楽死、尊厳死、脳死など)の概略と問題点を説明できる。

5. 自らの体験を通して、生命の尊さと医療の関わりについて討議する。(態度)

A(1)【医療の目的】: 予防、治療、延命、QOL について説明できる。

A(1)【先進医療と生命倫理】: 医療の進歩(遺伝子診断、遺伝子治療、移植・再生医療、難病治療など)に伴う生命観の変遷を概説できる。

8回. 社会と薬学(田中慶一)

A(2)【社会の期待】: 1. 医療の担い手として、社会のニーズに常に目を向ける。(態度)

2. 医療の担い手として、社会のニーズに対応する方法を提案する。(知識・態度)

3. 医療の担い手にふさわしい態度を示す。(態度)

B(1)【現代社会と薬学との接点】: 1. 先端医療を支える医薬品開発の現状について概説できる。

2. 麻薬、大麻、覚せい剤などを乱用することによる健康への影響を概説できる。

3. 薬害について具体例を挙げ、その背景を概説できる。

9回. 大学の学習に必要な「ころ構え」と技能。6年制薬学教育の概要(谿 忠人)

【要約レポート】

B(1) 薬学への招待: ※大学と高校の相違と大学で学ぶ「ころ構え」を認識する。

※大学の学習に必要な技能(日本語力: 傾聴力、要点把握力、質問力)を概説できる。

10-13回. くすりと薬学の歴史・薬学の研究と教育・卒業後の進路の概要(谿 忠人)

【要約レポート】

A(2)【医療行為に関わるころ構え】: ※自立し自律した「個」と「協調性」が薬剤師に必要な理由を説明できる。

A(2)【研究活動に求められるころ構え】: 研究に必要な独創的考え、能力を醸成する。

※自立し自律した「個」と「協調性」が研究者に必要な理由を説明できる。

A(3)【コミュニケーション】: ※コミュニケーションが薬剤師・研究者に必要な理由を説明できる。

B(1)【薬学の歴史】: 薬学の歴史的な流れと医療において薬学・薬剤師が果たしてきた役割を概説できる。

【薬剤師の活動分野】: 薬剤師の活動分野について概説できる。

【薬について】: 薬とは何かを概説できる。薬の発見の歴史を具体例を挙げて概説できる。

14-15回. 早期体験学習で得た知識を小人数で討議し、まとめたものを発表する。(藤井敏彦、西山省二、廣谷芳彦、名徳倫明、池田賢二、小川雅史、上島秀樹、初田泰敏、川西園代、小西廣己、伊賀幾美)

14回. 早期体験学習で得た知識を小人数で討議しまとめる。(班分けと講義室は追って通知する)

15回. 早期体験学習で得た知識を小人数で討議しまとめたものを発表する。(班分けと講義室は追って通知する)